

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	市民研究員養成事業
事業主体 (連絡先)	茅野市 0266-72-2101
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,109,181 円 (うち支援金 : 831,000 円)

事業内容

1 市民研究員養成事業

博物館活動を職員と共に担う市民を養成する事業である。本事業は1期3年制で計画しており、平成28年度は第2期1年目である。植物・菌類・実験工作・シダ・天文の5グループに分かれ、調査研究を指導者とともに行った。グループ共通の講演会を、一般市民にも開放して実施した。

2 モバイルプラネタリウム投影

科学教育振興事業として、モバイルプラネタリウムを導入し、土曜、日曜、休日に博物館で一般投影した。平日の水～金曜日には、保育園・学校・公民館等の要請に応じ、学年・年齢に応じた学習投影をした。



【市民研究員養成事業講演会の様子】



【モバイルプラネタリウム投影の様子】

【目標・ねらい】

- ①市民研究員の参加者増加
- ②市民研究員認定者の増加
- ③市民への啓発

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- (1)市民研究員の参加者増加
対前年比 参加者増加率 114.5%
- (2)市民研究員認定者の増加
対前年比 認定者増加率(予定) 146.2%
- (3)市民への啓発
活動発表展の来場者数 対前年比 149.1%増加
- (4)博物館来館者数の増加
対前年比 来館者増加率 110.7%増加

※自己評価【A】

【理由】

地域全体の自然、科学教育への関心を高め、多くの市民が、博物館事業に参加することを目的に実施した結果、全ての指標で効果が認められた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

市民研究員養成事業は、博物館活動を学芸員と共に進める主体的存在として、今後一層その役割を増していく予定である。モバイルプラネタリウム投影は、新たな博物館の基幹事業として位置づけ、科学教育振興の起源としていく計画である。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある